

2020～2021年度 小倉中央ロータリークラブ週報

第1205回 本日の例会 7月6日(月)

本日の卓話 2020～2021年度
会長 あいさつ



例会日 月曜日 12:30～13:30
例会場 リーガロイヤルホテル小倉
事務所 小倉北区堺町1-2-16-3F
TEL 093-531-4015
FAX 093-531-1022

会長の時間 (6月29日 1204回 例会記録) 原田会長

出席報告 6月29日

皆さんこんにちは。本当にお久しぶりです。
例会は2月17日の5クラブ合同例会以来です。本当に、今日まで、例会を開けないとは想像もできませんでした。この間、事務局はテレワークとなり、理事会も文章での会議や3蜜を避けての実施となりました。この様な中、会員の皆様には、会社やご家庭で、多くのご苦労があり、また、多くの変化が続いていると思います。本当は、こんな時だからこそ、同じクラブの私達が、励ましあい、情報を共有し、知恵をかり、乗り越えて行く事が出来れば、よかったのにと感じてしまいます。皆さん、次年度からの例会で、何か、アフターコロナを進むヒント見つけて頂ければ嬉しいと思います。
今日の会長の時間は「ウイズマスクの時代に」です。1月27日の会長の時間で、新型コロナウイルスの話をしました。あれから5カ月、社会のほとんどの物に、規制がかかるといった思いもよらない世界になってしまっています。一歩家から出ると、手は消毒、そして体温を測り、マスクの確認です。財布を忘れるより、マスクを忘れるほうが、困った事になる気がします。そんなことから、今まで考えもしなかったこの時代に、マスクと生きる「ウイズマスク」を考えてみたいと思います。

まずは、簡単にマスクと日本人の歴史を振り返って見ることにします。マスクは、明治初期に工業用として、始まりました。その後、大正時代にスペイン風邪(インフルエンザ)が大流行したことで、予防対策として国が奨励し、多くの日本人が、マスクをするようになります。また、戦後の度重なるインフルエンザの流行に、付け心地の良い白いガーゼマスクが使われるようになりました。1960年代には、花粉症対策としても活用され、市場は拡大していきます。2011年頃になると、医療的目的ではなく、周囲の視線を、気にしないための物として「だてマスク」が、新たな目的で、使われるようになりました。そして、今、新型コロナウイルスの感染拡大の中では、本来のマスクの定義とは、かけ外れた意味を、マスクは持ち始めます。それは、感染予防等の医療的、意味合いとは別に、マスクをつける事で、責任回避の意味が、含まれて来ていると言う事です。言い換えると、マスクを着ける事で、誰が見ても感染予防に、自分が注意を、払っていると分かる印になっているという事です。そんな、マスクの着用が、当たり前の中、成りつつある事に対して、九工大の名誉教授の佐藤先生は、言っています。「日本には、3人以上の日本人が集まって、その場の空気や雰囲気、ルールが、作られる『世間』と言う物が存在します。家庭でも『世間に迷惑をかけない人間になれ』と教えられます。今、【自粛】や【要請】というだけで、多くの人が、きちんとルールを守る「優しい世間」がある一方で、コロナの世界的流行と言う非常時には、日頃、表面化しなかった「厳しい世間」が顔を出してしまいます。そうすると、マスクを着ける事への同調圧力が強烈になり、マスクをしていない人に厳しくなります。だからこそ、厳しく細かくなり過ぎる世間のルールを、緩めて行くことも大切だ」と注意喚起をしています。確かに、自分はマスクをしているのに、他の人が着けていないと、苛立った経験がある人も少なくないと思います。そしてまた、日常的にマスクが当たり前になった事で、生活に支障をきたす人がいる事を、忘れてはいけません。それは、病気などの理由で、長時間のマスク着用が難しい人達や、逆に、相手にマスクを外して欲しいのに言えない、聴覚に障害にある人達です。障害のある彼らにとっては、口の動きや表情を見る事でしか正確なコミュニケーションが測れず、日常生活に支障を、きたしているからです。

今、長引くコロナ感染症と共に生きる時代に、また感染拡大の2波、3波が懸念される中では、マスクは「ウイズマスク」として生活の一部になっています。だからこそ、コロナ後の社会では、感染を広げないことに加え、「厳しい世間」ではなく、お互いが安心して生活できる方法も探れる「優しい世間」を持ち、他人を思う気持ちの中で、優しい「ウイズマスク」時代にして欲しいと思います。以上これで、年度、最後の会長の時間を、終わります。

在籍会員数	41名
義務出席者	38名
ゲスト	0名
ビジター	0名
本日出席数	33名
本日出席率	87.80%

次回(7月13日)の例会は、
【短縮例会】

2019～2020年度
会計・監査報告

7月のお誕生日

5日 梶原 謙吾会員
5日 森 隆二会員
6日 申 夢月さん
26日 羽地 良一会員

今月の主な予定

6日(月) 定例理事会
11日(土) インターアクト地区研修会
16日(木) 二水会
26日(日) ローターリーリーダーシップ研修
(会長・幹事)

幹事報告

細川幹事

- ・今期は、新型コロナウイルスにより、例会が行えないという異例の事態となり、ロータリーの活動も止まってしまいました。
下半期のクラブ協議会（委員長発表）もできませんでしたが、後ほど会長と会計の報告を行います。
その中で説明がありますが、本日皆様へ2万円を返金します。
帰りにサインをして受取ってください。
- ・本日が今年度最後の例会となります。
糀谷会員と児玉会員が今年度末で退会となります。

◆ 米山功労者表彰

池浦泰徳会員



◆ ロータリー25年表彰

浅海輝二会員



◆ 2020～2021年度 地区委員

地区インターアクト委員会 委員 河野 一郎会員
 地区社会奉仕委員会 委員 野口 晃会員
 広報・公共イメージ委員会 委員 細川 忠広会員
 " " 北垣 友和会員

ニコニコ献金報告

累計 773,500円

- 原田会員—皆様1年間ありがとうございました。至らない事ばかりでしたが、寛容の心でお許しください。光應さん、次年度よろしくお祈いします。
 次男が2月28日に結婚しました。まだお嫁さんから「お母さん」と言われるのに慣れません!!
- 細川会員—1年間お世話になりました。クラブ幹事としては、まだまだ至らない事だらけでしたが、個人的には大変勉強になった1年でした。
- 森本会員—皆さん、一年間ありがとうございました!!
 本当に素晴らしい経験をさせていただきました。
- 吉田会員—原田会長、細川幹事、異例な年度でしたが、その分ご苦労もあったと思います。お疲れ様でした。
 PS:会長の時間、もう少し聞きたかったです。
 またいつか…
- 糀谷会員—本日が私にとって最後の例会となりました。
 「お世話になりました」
- 光應会員—原田会長、ご苦労様でした。
- 野口会員—とりあえず、例会再開できたのでニコニコ致します。
- 池浦会員—何もできずに終わってしまいました。次期はこんな事がないように祈ります。
- 鍋島会員—6月17日に楽しくて良いことがありました(^_^♪
 今期1年間、楽しいRC活動をさせていただきました。
 小倉中央RCの皆さんどうもありがとうございました。
 原田会長、細川幹事、お世話になりました。
- 大西会員—コロナウイルス拡大で、大変不安な日々でした。
 が、久しぶりに皆様にお会いできて大変嬉しいです。
 感謝です。
- 村口会員—ロータリー、再開おめでとう!
 100年に一度の災害を皆で乗り切りましょう。
 合計 94,500円

祝お誕生日祝い—安部高子会員 光應知廣会員
 巫部祐彦会員 池浦泰徳会員

四つのテスト ～ 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

今年度の報告

会長 原田 緑



1月27日の例会で、上半期の報告の後、2月17日の例会を最後に、コロナ感染拡大で休会となりました。例会及び委員会活動、そして地区行事も不可能となり、皆様にはご心配をお掛けしました。

それでも、2月16日北九州マラソンの応援、雨の中、たくさんの方が参加して頂いた事、強く印象に残っています。そして、2月17日には、休会前の最後の例会になった小倉中央 RC 主催の5クラブ合同例が、開催されました。北九州でモンゴルの子供たちを、支援する NGO ハミングバズの方に卓話をして頂き、私たちが、続けている児童養護施設の支援活動も含めて、小島ガバナー補佐よりおほめの言葉を頂いた事は、嬉しい事でした。また、2月29日小倉クラブ主催のIMも、難しい環境でしたが、15名近くの方に参加して頂いています。そして、ご存知の通り、これよりクラブの活動は、休止となりました。しかし、事務局は、4月9日から6月18日まで、月曜日以外は、ほぼテレワークで業務を継続しておりました。その中で、事務局通信として RC 情報やコロナに関しての情報、そして会員の皆様のウィットに富んだ楽しいコメントも、たくさん発信させて頂きました。投稿して頂いた皆様、ありがとうございました。ただ、私自身の体調の問題で、会長の時間の様な、コメント発信が、1回しかままならず、大変申し訳なく残念な気持ちでいます。

しかし、理事会は、状況下でも、休会の期間の決定や会計の承認等で、開催しておりました事、ご報告いたします。また、理事の皆様には、この状況中での会議や難しい案件を協議して頂いたことに、感謝申し上げます。加えて、今年度の様な前例のない、難しい原田年度の運営を支え、忌憚のないご意見を沢山して頂いた事、お礼申し上げます。

しかし、今回のコロナ問題で、委員会活動もままならず、まして会員増強に関しては、次の光應年度が、マイナス発進となり、力不足をお詫びいたします。

最後になりますが、この特異な原田年度が、私たち小倉中央のアフターコロナ時代の歩みの礎になってくれる事を強く願っていますし、信じております。

また、年度が始まる前から、支えてくれた細川幹事、森本 SAA には、感謝しています。



糞谷さん
児玉さん
お元気で...



原田会長・細川幹事
お疲れ様でした。

新型コロナウイルス感染
予防対策として、スクール
形式での例会でした。

